

金融コンプライアンスレコーダー

金融業界では、企業が顧客と接する通信チャネルの数は劇的に増加しています。つまり通話のみによる取引からメール、ビデオ、ウェブサイト、チャットなど、その他さまざまなチャネルを縦横無尽に経由して接してくる顧客とのコミュニケーションを記録する必要があります。一方、世界的にコンプライアンスや個人情報保護に関するさまざまな法令が施行され、金融機関は法令に準拠した記録管理と取引監視を全社的にますます強化しなければなりません。特に金融機関はコンプライアンスのためにディーラーフォン、携帯電話、ユニファイドコミュニケーション（UC）ツールを介した取引に関連する社内外のやり取りすべてを記録保持する必要があります。

この課題に取り組む企業を支援するために、Verint 金融コンプライアンスレコーダー（Verint® Financial Compliance Capture™）は、音声、SMS、インスタントメッセージ、画面とアプリケーションの共有、ビデオ会議、ファイル転送、その他の金融取引や事務業務におけるコミュニケーション手段でのやり取りを記録するための、統合された安全なコンプライアンス記録ソリューションを提供します。このソリューションは、IPC®、BT® IP Trade™、Cloud9®、Speakerbus®、その他のディーラーフォンやトレーディング通信システムなどをサポートしています。さらに、Cisco® Collaboration、Microsoft® Skype for Business、Avaya®、その他PBX電話機からUCまで、あらゆる会話を確実に録音できます。

Verint 金融コンプライアンスレコーダーは、規制遵守、法的責任の保護、コラボレーション機能を企業全体で統合できる録音ソリューションです。金融機関では、取引のライフサイクルのどの段階でも、規制されているすべての会話を自動的に録音・録画・記録し、コンプライアンス対応のために取引に関連する会話を把握することが必要ですが、この実用的なソリューションを導入すると、MiFID II、MAR / MAD II、ドットフランク法などの厳格な記録管理、取引監視ポリシーに準拠することができます。

金融機関にとって、法令遵守は企業と従業員を守る為の絶対不可欠な企業活動です。システムがコンパクトに設計されているため、サーバーも導入も運用もコンパクトになり、TCOを抑えることが可能になります。Verint 金融コンプライアンスレコーダーは、金融機関のコンプライアンス活動をシステム面から最大限に支援します。



メリット

- 統合された録音ソリューションにより、主要なユニファイドコミュニケーションとのコラボレーション、ディーラーフォン、PBX電話機、モバイルプラットフォームなどでの会話音声、チャット、ビデオ、スクリーンアクティビティなど複数のチャネルでのコンテンツ共有を把握・管理
- MiFID II、Dodd-Frank、MAR / MAD IIなどの取引記録管理およびコミュニケーション監視ポリシーの法令順守を促進し、多額の罰金や罰則を回避
- 金融のトレーディングフロアやバックオフィスでの取引の再構築と調査のために、取引関連のやり取り全体を記録
- コンプライアンス対応の取引記録に関連するハードウェアの設置面積、技術インフラ、IT部門の作業負荷、運用コストを削減

★ 複雑なCTI連携に対応していないためコンタクトセンターでのご利用は推奨しておりません。

Verint® Financial Compliance Capture™ 金融コンプライアンスレコーダー

オムニチャネルの記録ニーズに対応

Verint 金融コンプライアンスレコーダーは、既存のインフラが多種類にわたる場合でも、様々な接続実績により単一のプラットフォームで録音・録画・記録が可能になります。また、企業がコンプライアンスや個人情報などの規制上の義務を果たすために、下記のような高度な記録機能を提供します。

- **多彩なコンプライアンスレコーディング** – さまざまなレコーディングモード（常時オンとオンデマンド）およびパッシブ、プロキシベース、ネットワークベースのキャプチャなどの複数の方法をサポート
- **複数の会話シナリオ** – 社内、社外、会議、フェデレーション通話、モバイルでのやり取りを継続的に記録
- **録音不具合時の通信拒否** – 何らかの理由で録音サービスが利用できない場合、通話の確立をブロックできる
- **録音アナウンス** – 会議通話、PSTN通話、フェデレーション通話で録音通知の音声アナウンスを簡単に設定できる
- **録音保証** – 通話を必要な品質ですぐに利用できるようにするために、会話記録と音声品質チェックを強化できる
- **コンプライアンスストレージの統合** – 会話を複数のサードパーティ製のラウドストレージやWORM（Write Once Read Many）アーカイブソリューションに保存できる
- **柔軟な導入オプション** – クラウドまたはオンプレミスに導入できる

コンプライアンスにかかる費用を削減

Verint 金融コンプライアンスレコーダーを使用すると、企業は複数のサイトでの何千ものチャネルにおける金融取引関連のコミュニケーションを記録することができます。一箇所で管理でき、導入されたサイト全体の集中管理画面を提供するため、継続的なメンテナンスに伴う労力とコストを削減しながら、複数の独自システムによってもたらされる複雑な状況に対処できます。

金融機関のビジネスにおいて、ハードウェア、技術インフラ、ITに関わる労力など、金融コンプライアンスに関わる録音・録画・記録に関連する運用コストを大幅に減らすのを助けることができます。

このソリューションを業界標準のサーバーに展開し完全仮想化ソリューションとして実装すると、プロビジョニングやメンテナンス、災害復旧のコストを削減することができます。オプションで記録の冗長性と高可用性が可能のため、サーバーに障害が発生した場合でも記録を継続することができます。また、このソリューションの導入により素早い回復力と故障に強い環境を実現できます。

世界中の専門コンサルタントがサポート

ベリントは、ビジネスアドバイザーサービス、導入サポート、インネーブルメントサービス、マネージドサービスなど、投資から最大限の利益を得るためのさまざまなプロフェッショナルサービスを提供しています。お客様が選択するサービスに関係なく、ベリントの経験豊富なチームが実践的な知識を提供し、お客様の成功を支援します。

The Customer Engagement Company™

ベリントシステムズジャパン株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1
NK真和ビル8F

03-6261-0970

al_japansales@verint.com

<http://www.verint.co.jp>